

## 平成 25 年度第 10 回理事会抄録

日時：平成 26 年 2 月 15 日（土） 13：25～16：15

場所：一般社団法人日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、山根（副会長）、荻原、香山、陣内、土井（常務理事）、宇田、大庭、荻山、小林毅、高島、谷、藤井、宮口（理事）、古川（監事）

傍聴：富岡（WFOT 代表）、岡本（事務局財務担当）、清水（都道府県士会連絡協議会副会長）

### I. 審議事項

1.平成 26 年度第四次予算案について（香山理事）収入 6 億 4,604 万 5,000 円、支出 6 億 5,645 万 1,000 円の予算案が提案される。1,000 万円の収入と支出の差について意見が出された。 →承認

2.平成 25 年度事業報告案及び平成 26 年度事業計画案について（香山財務担当理事）各部より事業報告案、事業計画案について説明がされた。 →承認

3.認定作業療法士の認定結果について（陣内教育部長）更新申請者 76 名のうち認定 73 名、保留 3 名。新規申請者 36 名に対し 36 名全員が認定された。 →承認

4.認定作業療法士及び専門作業療法士の資格再認定試験の結果報告及び認定証の発行について（陣内教育部長）2 月 11 日に初の試験が行われ、受験者は全員合格となる。 →承認

5.WFOT 大会時の近隣アジア諸国作業療法士協会長会の企画案について（藤井国際副部長）日時、場所、予算、参加者等の提案。今後、この会をどう発展させていくか等の意見が出された。 →承認

#### 6.災害対策関連の諸文書について

1) 大規模災害時支援活動基本指針（旧「大規模災害時支援活動マニュアル」の大幅改定）（香山災害対策室長）都道府県作業療法士会との連携を中核とする基本指針に変更した。 →承認

2) 災害支援ボランティア活動マニュアル（香山災害対策室長）ボランティアの活動についてのマニュアルを作成。 →承認

3) 災害支援ボランティア活動受け入れマニュアル（香山災害対策室長）ボランティア受け入れについてのマニュアルを作成。 →承認

7.休会申請者の承認について（香山事務局次長）1 月 31 日現在、休会申請をしている会員は 226 名である。 →承認

8.事務局職員の採用について（香山事務局次長）退職希望の職員の補充のため新たに 1 名、事務局員を採用する。 →承認

9.会員の入退会について（香山事務局次長）会費未納による会員資格喪失後の再入会希望者が 5 名。死亡退会者が 1 名。 →承認

## II. 報告事項

1. 「会長表彰」「特別表彰」の審査基準および審査手順について（荻原表彰審査会副委員長）表彰審査会が設置されたことを受け、審査基準、審査手順の案が示された。
2. 平成 26 年度の会議日程について（荻原事務局長）基本的に例年どおりだが、6 月は WFOT 大会のため、1 月はセンター試験のために理事会を第 4 土曜日とする。
3. 作業療法士国家試験出題基準について（陣内教育部長）厚労省より意見を求められていた国家試験出題基準案に対して、協会の意見を回答した。
4. 平成 25 年度 WFOT 認定等教育水準審査について（陣内教育部長）事後報告だが、全国リハビリテーション学校協会に未加入の学校について、継続校 6 校と新規 1 校の審査を協会独自に行った。
5. 国家試験委員の構成に関する要望書（チーム医療 1 月 28 日提出）について（中村会長）①試験委員は各職種の業務経験を有する有資格者②副委員長を 2 名体制とし、1 名は各職種の有資格者とするとの内容の要望書を医事課に提出した。
6. 心大血管疾患に対する作業療法の対応について（高島理事）心大血管疾患については廃用症候群の算定をしてきたが、対象の厳格化により対応が困難となったので、検討を願いたいという文書を厚労省医療課に送り、返事をいただいた。
7. 認知症 DVD のシナリオについて（小林毅広報副部長）認知症 DVD の撮影が終了し、これからナレーションを入れていく。より適切な表現があれば意見をいただきたい。
8. 精神障害者保健福祉等研修の募集について（荻山制度対策副部長）当研修について、関連団体で 1～2 名の傍聴が可能との連絡があり、精神科関連の委員にメール配信をした。
9. WFOT 大会関連
  - 1) 大会の準備状況について（山根 WFOT 大会実行委員長）都道府県別の参加登録者数の表を作成した。国内で 3,500～4,000 名を予定しているが、現在 1,219 名である。会員からの一口 1,000 円の寄付も 250 万程度である。展示ブースの出展依頼にも対策が必要である。
  - 2) WFOT 役員会議、代表者会議への理事出席について（小林毅理事）前後 2 週間の会議、パーティーの予定表を配信するので、理事の出席について、次回理事会で調整をお願いする。
10. 訪問リハ振興財団による気仙沼の訪問リハ事業所設立について（土井理事）当協会主導で宮城県に事業所が開設されることを受け、2 月 11 日に気仙沼に入り、実情調査をした。
11. 日本作業療法士連盟の動きについて（谷理事）2 月 9 日に第 5 回

総会が開催され、会員の確保、財政等について話し合われた。総会后、研修会、懇親会が開催された。

## **12.理事活動報告**

**(小林毅理事)** ①がんのリハビリテーション研修会は厚労省の委託事業から外れるが、6学協会が協力し、来年度5回の研修を企画している。②リンパ浮腫の研修会も同様に変わる。③2014作業療法フォーラムの趣旨説明とWFOT大会取材についてのお願いにTBSテレビ報道局を訪問した。

**(中村会長)** 厚労省委託の研修会を受けるに当たり、チーム医療推進協議会も一般社団法人化に向けて動き出している。当協会としても協力していく。

**(陣内教育部長)** 再来年度の作業療法全国研修会の開催地を富山県士会と山口県士会へ依頼する方向性で進めていく。

以上